

茶



鹿児島県 かごしま茶輸出対策実施本部 『日本茶を米国・EU・アジアへ』

【主な品目】

緑茶

【主な輸出先国・地域】

米国・EU・アジア等

【輸出取組の概要】

- ◆ 輸出相手国(米国・台湾・EU等)の食品安全基準に対応した生産流通体制の確立
- ◆ 輸出相手国を問わず輸出可能な有機茶への取組を強化
- ◆ 海外におけるかごしま茶のPR、販路の開拓・確保

【輸出実績】

	輸出額(万円)	輸出量(t)	出荷時期
平成28年度	13,467(2,771)	115(17)	年間
平成27年度	15,140(8,978)	80(40)	
平成26年度	12,224(6,103)	72(50)	

注1.年度は7月~6月

注2.括弧内は米国への輸出実績

注3.平成26年度農林水産省の補助金を受けて米国での商談会に参加した県内6社の実績

【取り組む際に生じた課題】

- ・ 輸出相手国の食品安全基準に対応できる茶の生産
- ・ 海外市場に向けたかごしま茶のPR・販路開拓による輸出拡大

【生じた課題への対応】

- ・ 輸出相手国の食品安全基準に対応した輸出向け茶の生産拡大
→輸出サプライチェーン拡充、ドリフト・コンタミ防止に向けた実証ほ設置
- ・ かごしま茶のPR、販路の開拓・確保による輸出拡大
→国内外商談会への参加、海外バイヤー招へい、英語版HPの作成
- ・ 米国における輸出相談窓口の設置
→在米コンサルタントによる商談情報収集、各種手続きの代行等



茶市場における輸出向け茶の入札

海外バイヤーによる求評会



【バイヤーからの評価や助言】

- ・ かごしま茶は渋みがなく、甘さを感じる。
- ・ 海外では、水色に濁りのないお茶が好まれるため、輸出向けには形状がしっかりしたお茶がよい。

【対応の結果】

- ・ 米国向けに加え、EU・台湾向け輸出サプライチェーンの構築
- ・ 輸出対応栽培ほ場登録茶園の拡大(314ha→368ha)
- ・ 継続したPR等による輸出量の増(前年比144%増)

【今後の課題・展望】

- ・ サプライチェーンによる安定した輸出向け茶の生産
- ・ かごしま茶のPR、販路の開拓・確保
(世界的コンテストへの出展、海外バイヤー招へい等)
- ・ 輸出相手国を問わずに輸出可能な有機茶の生産拡大

【活用した施策】平成27年度輸出に取り組む事業者向け対策事業

【連絡先】担当者名:出水達也、TEL:099-267-6063

【ウェブサイト】 <http://www.ocha-kagoshima.jp/> 英語版: <http://kagoshimacha.org/>